

令和 5 年

第 3 回 教育委員会 臨時会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和5年 第3回 定例・**臨時** 委員会 議事録

委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和5年2月9日 午前 ・後 10時00分	両津地区公民館 3階 第1学習室
閉会日時	令和5年2月9日 午前 ・後 11時35分	
延会日時	平成 年 月 日 午前・後 時 分	
出席者	欠席委員	会議録署名委員
教育長 新発田 靖		仲川 正道
1番委員 仲川 正道		池 典比古
2番委員 池 典比古		
3番委員 瀧川 紀子		
4番委員 岩崎 奈美		
説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育次長	磯部 伸浩	社会教育課 課長補佐 本間 正寛
教育総務課		
課長	柳澤 正二	
課長補佐	飯田 誠	
総務係主任	小林 唯美	
学校教育課		
課長	森 和人	
管理主事	福井 晴人	
傍聴人	有 無	
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり	

会 議 で 行 っ た 選 挙 の 結 果
なし

会議に付議した事件の題目		
協議事項	令和5年度教育行政方針について	
次回会議開催日		
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

<p>・新発田教育 長</p> <p>・柳澤教育総 務課長</p>	<p>◎本臨時教育委員会は、午前10時から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ただ今から、令和5年第3回佐渡市教育委員会臨時会を開催いたします。・初めに、日程第1、「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第18条の規定により仲川委員と池委員の2名を指名いたしますので、よろしく願いいたします。・日程第2、協議事項「令和5年度教育行政方針について」、事務局の説明を求めます。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年9月に策定しています佐渡市教育振興基本計画に6つの基本目標を掲げており、その基本目標の達成に向けた令和5年度における方針及び取組について教育行政方針でお示ししました。教育委員の皆さんから頂いたご意見につきましては、修正反映させて頂いたところを朱書きでお示しをしています。本日修正箇所のご確認を含めご検討下さいますようお願いいたします。・教育行政方針は今月20日に予定されております市議会全員協議会で配布、2月28日市議会2月定例会本会にて教育長から演説をいただきます。・委員さんからご意見をいただきました、「はじめに」の欄で文章が曖昧、趣旨を明確に伝えるよう修正が必要とのご意見がありましたので、「全国的に少子高齢化が進む中でも、佐渡市の少子化傾向は顕著であり、子ども同士による人間性を鍛える機会や学びの機会が少なくなってきました。現在の学びの姿として、探究的な学習や体験活動等を通じ、他者と異なる考え方を尊重し、よりよい学びを生み出す協働的な学びが重要です。」と修正しました。・「学校や家庭においても支援し」を「学校や家庭における取組を支援し」と修正しました。・「学習意欲の更なる向上のために」と続く部分につきまして、ご意見をいただきましたので、「学習意欲の更なる向上のためには、デジタル技術を活用したGIGAスクール構想を一層推進し、併せて大学や各種教育機関との連携を進めていく」と修正しました。・2ページ目の1行目から4行目までの間にご意見がありましたので、「安全・安心な学びの環境づくりへの取組においては、全国的に不登校が増加している中、佐渡市では」というところ、「令和4年度からタブレット端末を活用した「心の健康チェック」を開始し、適切な相談業務と連携させて有効な指導を行っています。今後とも」と修正しました。・中段にあります部分に関しては、事務局で修正したものです。当初は、「多くの学びの機会が失われてきましたが、そんな中」とつながっていましたが、「そんな中」を「そのような状況でも」と修正しました。・次に「佐渡の方々が活躍」という表現でしたが、「佐渡の小・中学生の」と修正しました。・次の修正ですが、「文化ではリコーダー」とつながっていましたが、「文
---	---

<p>・新発田教育 長</p> <p>・仲川委員</p> <p>・新発田教育 長</p>	<p>化活動」と修正しました。あと、「リコーダー、将棋」の次が「百人一首」となっていたようですが、「百人一首」につきましては、コロナ前の取組みといえますか、結果でしたのでこの部分につきましては「百人一首」は削除をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ その次ですが、ご意見いただきました「環境整備に取り組み、支援」と修正しました。・ その次の行につきましては、「支援を行っていきますし、これまで」とつながっていましたが、「支援を行っていきます。また、」に修正しました。・ 2行下がっていただいて、「取り組みます。」を「取り組んでいきます。」に修正しました。・ 今説明がありましたところ表紙、目次、「はじめに」のところ、1ページ目2ページ目のところについて、ご質問やご意見ありましたらお願いします。・ 「はじめに」の訂正箇所・修正箇所には私の意見を大分入れていただきました。ありがとうございます。現状分析として「はじめに」のところにはこれまでも少子高齢化の話が必ず出てきました。少子高齢化は20年位前からずっといわれていることで、受け止め方としてもう受動的ではなくて、当たり前のこととして能動的に捉えて行く必要があるというのが私の意見です。原案では随分受け身的な表現が重なり、こう書いてありました。「全国的な少子化・高齢化が佐渡市においても大きく影響し、少子化の進展に伴い」となっていたようですが、全国的な傾向が佐渡に影響したのではないのです。佐渡が最先端をいっています。この最先端を先進的なことができるチャンスと捉えようと自分では考えています。佐渡市の教育行政の取組はおそらく全国も見ているし、先行事例になっていくだろうと考えます。これからも取組の姿勢として前向きな表現ができるようにお考えください。・ 併せて「はじめに」のところに入れなければならないことがあります。「はじめに」に入れることができなければ、「おわりに」に入れなければならないと思うのですが、この少子化と大きく関係があるのが、今回の統合計画です。ところが一言も統合計画が出てきていない。私は令和5年度の大きな柱は3つあると思う。小・中学校の統合計画と、教員の働き方改革と、部活動の地域移行の3つがとても大きな柱になってくる。ところがその内の統合計画がどこにも出てこない。「はじめに」に入れるか「おわりに」に入れるか検討してください。・ もう1つですが、GIGAスクールについてもやっとスタートした状況ですが、これもさらりと流すのではなくて、しっかりと議員さん方に分かるようにしてください。GIGAスクール構想はデジタル技術を存分に活用して、生徒の学習意欲を高めるものだということを認識させるように文章化していただきたい。・ はい、今の件について。
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳澤教育総務課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編統合計画の表記につきましては、今回の6ページの中程に、「また、児童・生徒の」云々ときて、「学校施設の長寿命化計画に基づく学校施設の更新等を着実に推進するとともに、佐渡市小学校・中学校再編統合計画に基づき、統合協議を」という表記はあるところですが、今のご意見はそれ以外にももう少し「はじめに」なり「おわりに」ということですか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 ・ 新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうです。 ・ 今の検討について、委員の方いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私もそのように感じました。大きな柱というか、動きの中が伝わりやすいように、「はじめに」と「おわりに」に出てくる方がいいこのままではさらりと流された感じがあるので、仲川委員が言われたことに大きく頷きます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合再編については、「はじめに」か「おわりに」のところできちんと位置づけて処理した方がいいのではないかとということで、また検討してください。 ・ その他、1ページ2ページ目いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、3ページ目の「基本目標1」について説明をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳澤教育総務課長 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、「基本目標1」の修正箇所について意見として質問もごさいます。これはあとで担当より説明させていただきたいと思います。「基本目標1」の3ページ目「きめ細やかな指導につなげて」こちらは漢字を平仮名に直しました。 ・ 3行下がり、「タブレットへのA Iドリル」を「タブレット端末への」と文字を追加させていただきました。 ・ 3行下がっていただいて、「一人一台端末を」という表記を「タブレット端末を」に修正しました。 ・ 2行下がり、ここも「繋がる」が漢字でしたが平仮名に直しました。 ・ 次に「放課後学習支援を計画することや」という表記になっていましたが、「支援を行うこと」という表記に修正しました。 ・ 下から2行目ですが、「平均以上でした。」を「平均以上でしたが、」、「弱い部分がありますので、」を「ありました。」に修正しました。 ・ 4ページ目の1行目で「支援します。」を「実施します。」に直しました。 ・ 次が、委員さんからの意見にあります、「道徳教育という面では」を「道徳教育においては」に修正しました。 ・ また、ご意見の部分に「「考え、議論する道徳」の実現を図り、いじめ見逃しゼロを」というところを、「特に今年度は、いじめ見逃し」ということに修正した方が良くのではないかとのご意見がありましたが、「特に今年度は」を入れることによって今まで何もやってこなかったように見えるとい

<p>・ 本間社会教育課課長補佐</p>	<p>う風に捉えられると感じたものですから、今回は修正いたしませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ見逃しゼロを目指します。佐渡人権展」という表記でしたが、「また、」を追加しました。 ・ 質問に対しての回答をさせていただきたいと思います。 ・ 土曜学習についてご意見ご質問いただいていますので回答させて下さい。今年度から土曜学習ということで、できるところからやってみようということで取組を始めています。ご質問は各学校でのスタートになりますか、ということですが、私どもとしては、まず先生のなり手がいないこと、教えてくれる先生がなかなか見つからないことで多くのところで取組は難しく感じております。一生懸命先生は探しているのですが、現在は、今年度2か所で実施して継続しているような形です。 ・ 具体的には金井地区と新穂地区で今現在土曜学習を実施しております。金井地区では全部で7回、新穂地区では全部で予定も含めて4回実施を現在進めているところです。 ・ 最初に申し上げたとおり、先生のなり手が、非常にいっしょらない、見つからないことで、来年度につきましては、3地区目、4地区目と目指していきたいと思っておりますが、今確約できる方が見つからないのが現状です。また今現在金井地区、新穂地区と申し上げましたが、この両地区につきましても、先生のなり手、今教えていただいている講師になってくれている方がいつまでやっていただけるのか、継続してずっと3年も5年もやっていただけるのか、非常に心配でしてそのあたりまた引き続き協力を求めながら、継続できるように準備を進めたいと考えています。
<p>・ 森学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問がありました、大学生とのオンラインでつながる放課後学習支援ということについて説明させていただきます。これは今まで今年度も含め全く行ってこなかった事業、計画であります。 ・ 新潟大学の教育学部の方で新潟市の小・中学生に対して、放課後の学習支援を大学生が直接学校に行って地域のボランティアと一緒にやっているという授業がありました。佐渡市は地理的に、それは難しいのですが、オンラインという形で大学生の行っている学習支援ボランティアというものを活用出来ないかということで、新潟大学の准教授が担当しているのですが、電話で連絡したところ、なんとかできるのではないかといいところまで今話を進めているところです。来週具体的なイメージの共有ということで、その大学の担当准教授と打合せを行う予定となっております。 ・ 部活動がない曜日を狙い目にしながら、希望する学校・生徒を募って一斉に大学のある応用的な課題なんかを中心に解き方・考え方みたいなものを、子ども達も挑戦させると同時に大学生の方からもそういう支援を一斉に行ってもらおうという事を考えています。 ・ また、大学生が自己紹介する際には、自分の受験経験とか自分の中学校時代の夢をどのように追いかけたとか、そういう中学生のキャリアにつながるような話も身近な大学生から聞けるというのも生徒にとっては良い機会

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 	<p>ではないかなと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そういうのを生かしながら、具体的な計画はこれからになるのですが、是非実施していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、「基本目標1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進」について説明がありましたが、ご質問ご意見ありましたらお願いします。 ・ 土曜学習について質問しました。やはり放課後学習支援とか、放課後の一番最初の放課後教室かな、そういうもの始まりと同じようにこの土曜学習も決められた学校だけでなく、段々広がっていくことが望ましい。佐渡市が少子化により学校統合とか友達の関わりの中で人数が制限されてくると、どうしても固まった交友関係から問題が起こったときに、気持ちの切り替えができなかったりします。昔だったら異学年の交流だったり学校以外でも自己肯定感を高める事ができていたと思うのですが、そういう場が少なくなっている今土曜学習での横のつながりというより縦のつながりの異学年や他の第三者とのつながりは、心の逃げ場とか新たな自己肯定感を生み出す場になっていくと思います。そういう面でも土曜学習というのは佐渡において必要にどんどんなってくると思います。だから先生の問題とかボランティアの問題はやはり多く働きかけていただきたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問ですが、先ほど森課長が言われた大学生のオンラインの授業の件で、今学校はZ o o mじゃなくてT e a m s で使ってもらっていますよね。外部の方から素朴な質問があつて、あれはZ o o mっていうのは使えないのかという事を聞かれて、T e a m s はなかなかちよつと外部からだZ o o mの方が使い勝手が良くて、それはどうなのか。今回このオンラインはどういう形で決まってもらっていますでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との打合せによるんですけども、今までT e a m s も入っているんですが、Z o o mでも可能と担当者から聞いていますので、大学の方がZ o o mの方が良いということであればZ o o mでやろかなと考えております。子ども達の端末もZ o o mでやることは可能だと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインで大学が支援をしてくれるのは良いと思います。新しい取組で非常に良いと思うのですが、今年始めたとして、今年1回だけやってみるということでしょうか。それとも今年以内に1回2回と複数回やってみるような計画なのか、その辺の今後のことについて教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュール感も来週ちよつと話をさせてもらいたいと思っていますが、年度スタート時から難しいかなと思っていますが、5年度はよく打合せを進めた上で5年度のできるだけ準備が整ったら始めたいと思っています。毎回毎週というわけにはいかないと思うのですが、複数回考えています。できれば、月2回位はできないかなというところをイメージはしているところです。また、大学との調整も必要となってくるので、また検討していきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月2は凄いいと思います。できれば良いですね。子ども達にとっては新

<p>・ 仲川委員</p>	<p>鮮だと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど土曜学習の質問が出ました。瀧川委員さんの言うとおりでと思います。これがこれから佐渡の子ども達の基礎学力向上に相当役に立つだろうと思います。授業以外に、強制ではなくて望んで参加するという自発性、主体性の問題が出てきますので、大事なことを始めていただいたと思います。加えて実は我々委員に情報が全く来ていませんでした。是非こういうことは我々にも教えていただきたい。 ・ 講師のなり手について、佐渡市教育委員会ではこういう学習支援の事業を始めたから協力してくださいということを、1つのキャンペーンとして、島にいる若干時間の余裕のある方に協力してもらおうという体制を創り上げなければいけない。教育委員会の中だけで抱え込んではいけないと思います。 ・ 基礎学力というのは一生の財産だと思います。今後子ども達が自分の人生を開拓して活躍していくための本当に大きな財産を、教育委員会は保障する責任があると思っています。その中核になり得る大事な事業です。1つの学校だけで閉じこめるようなやり方ではなくて、1つの地域や隣の地域と合わせて教室を1つもってみるとか、発想を切り替えてより大きく動いていく必要があるのだらうと思います。積極的に進めていただきたい。
<p>・ 瀧川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学のオンラインのところでもう1つ補足です。部活動の選択の幅が統合に向けて地域移行で広がっていくと思います。そうするとスポーツをやらない選択をする子もいるのですが、そうなってきたときに、スポーツ以外に学びの場があってもよいと思います。私の息子がジオパークを習っていて大学に入ったときに、やはり佐渡では高校で地学を教えるところがない。でも大学に行ってみたら、高校で専門に学んでいる人がいる、それでは大学に入ったときにスタートラインも違うわけです。オンライン大学とつながったときに、佐渡でジオパークをせっかく推進して教えているんだから、この大学とのネットワークの時に例えば理学部系だったり、工学系だったり、早くから興味を持たせてその分野に進めるという教育の架け橋になるような活動につながれると思いました。スタートが月2回であれば、部活に通う気持ちで理学部の子がこういった大学のオンラインの学生とつながる場をキープしていくことができれば、これからの佐渡の学習をフォローする大切な役割になると思いますので、そんなことも考えながら成長してほしいと思います。
<p>・ 森学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今とりあえずは、中学生が対象にということでやっているのですが、オンラインの可能性がまた広がってくると、それこそ高校生を対象にした今のようななかなか佐渡では学べない情報とか学習みたいなものも可能になってくるのかなと思いますので、また高校生の面で管轄はちょっと違うんですが、情報交換する場面があったらまた考えていきたいと思います。
<p>・ 瀧川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生とか小学生の段階での興味分野のきっかけでもいい。高校の授業をフォローするわけではなくて、きっかけ作りを最初小学校や中学校からこ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 森学校教育課長 ・ 新発田教育長 ・ 委員全員 ・ 新発田教育長 ・ 柳澤教育総務課長 	<p>ういうことに興味を持つとこうい進路があることを知るきっかけとして、中学校のオンラインで教育学部の普通の勉強以外にも選択肢が広がると良いなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育は地学を含め、いろいろな同じ学習指導要領で内容はどこでも同じ小・中学生やっている部分がありますので、またそれ以降上のレベルの情報というか、また社会教育課とも相談しながらになるのかなと思います。オンラインを活用するという事は大事かなと思います。 ・ その他質疑等ございますか。 ・ 質疑なし ・ 次に、「基本目標 2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進」について、説明をお願いします。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標 2」の修正箇所について、委員さんから 4 点ほど意見をいただきました。 ・ 「佐渡市では「佐渡で成長し活躍する人」「佐渡に帰り心身とも大きくなって活躍する人」「佐渡を外から応援する人」の 3 つの姿を目指した人づくりを行います。」とありますが、生き方の多様性を認める時代に佐渡市では人生の選択方法として、この 3 つを推奨しているような誤解を招く表現に感じます。というご意見があり、11 ページのおわりにある「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人」を目指した人づくりというような表現の方が良いと考えます。というご意見がありますので、そのように修正しました。 ・ 「また、佐渡金銀山入館料や」を「また、職場体験活動の充実を図るとともに佐渡金銀山入館料や」と修正しました。 ・ 次、「佐渡おけさ講師招聘などの体験活動を」を「佐渡おけさの体験活動における講師招聘などを」と修正しました。 ・ 「ジオパークガイドの現地案内、職場体験の受け入れ」を「ジオパークガイドによる現地案内」と修正しました。 ・ 次の修正はこちらで修正したものです。当初は「佐渡の大地と生きものや人の生活」となっていたのですが、「人々の生活」と修正しました。 ・ 次、「取り組み」とありましたが名詞的な表現につきましては、送り仮名を省いて「取組」という形で以後、名詞的な表現については送り仮名を省略しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標 2」についてご質問等ございましたらお願いします。 ・ 私の方で、佐渡で成長し活躍するという佐渡に特化した人づくりを行うという事を少し変えた方が良いと意見しました。実を言いますとボランティアとかいろいろな活動で佐渡以外からお嫁さんに来た方とやったときに、佐渡学に抵抗があるわけではない、一度、偏ってないと言われたこと
---	---

	<p>が。それが記憶に残っていて、いやそんなことはないよと全国で郷土愛とか成長するに当たって、まず自己肯定感から意欲を持って生きていくことができる。そのためには各地域の事を学ぶに当たって、郷土愛、佐渡でいったら佐渡学を学ぶことは偏った教育ではないよ、それは大事なことだよと話したことがあります。それもあって、やはり文章だけを見ると誤解を招いてしまう表現があるのかなと思って、「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人」を目指した、これも同じ表現ですが、この方がすんなりと偏りなく入ってくると思いました。直していただいてありがとうございます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の意見に関して、この表現は今から数代前の市長さんに私が総合教育会議で話した事です。我々が地域で生きるときに教育の責任として地域のことを深く知ってそれを愛することができるような人が育っていくと良い。佐渡の人間としてのアイデンティティを持つような教育ができると良いというところから、3つのタイプについて話しました。佐渡が自前で育てていく人。一旦佐渡で育つけれども外でもう一度勉強して良いものを持ち込んでくれる人。そして佐渡に必ず帰ってこいではなくて、島の外から様々な応援をしてくれる人。生き方はそれぞれだが、心の中に常に自分のふるさと、根っこがある。それも良い記憶を伴う根っこがあるということイメージしたときの3つのタイプで、こういった方は私は理解がしやすいと思っています。子ども達には「明日の佐渡を創る人」は分かりにくい。キャッチフレーズとしては、私は前の方が良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私もちよっとね、あるからこのままもってきたんですけど、この「佐渡で成長し活躍する人」「佐渡に帰り心身とも大きくなって活躍する人」「佐渡を外から応援する人」となったときに、佐渡に住んでいる人がやはりというか、そういう人を望むのかなという風に受け入れてしまう人も出てしまうのかな、他に夢を見たらいけないのかなと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そんなことはないですよ。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私もそう思いますよ。郷土愛。根本的にそこを愛せないと、自分で外に向けて自信がないと今度は目が向かないので。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイデンティティがない人間って、そういう意味で苦労したり、不安な感じになることがある。我々は佐渡の人間ではあるけれども、日本人でもある。私も海外経験が大分ありますので、海外に出てその国の人たちと話をしたり、たまにはトラブルなんかもある。その時には自分はこういう風に育って自分の価値観はこうだからと再確認しながら生きていくし、場合によっては良い意味で戦っていかなければならない。その時にアイデンティティはとても大事なものだと思っている。どうやってアイデンティティを子どもに形成してもらうことができるか、そういう視点なんです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の実体験から、ちょっと話させていただいて良いですか。私も高校卒業するまでは、自分が生まれた佐渡というものが好きではなかった。どっちかという嫌いと嫌いと気持ちも強くて、とにかく日本の中心にいきたいとい

	<p>う考えしかなかった人間なんです、それでまあ進学をして島外に就職して、ご縁があって帰ってきたんですが、帰ってきて始めてもうちょっと佐渡のことをちゃんと考えてもっと勉強すればよかったなという風には率直に思いました。一旦外に出て佐渡の魅力が再確認できたというか、そういうタイプの若い方もいるかもしれないので、佐渡学というのは今の子ども達に大事だなとは思っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらも良いと思います。今、直されたものというのは、本当に大きな枠組みのものではないかと思っています。この大きなもののもとに具体的に何を指すのかという3つが入ってくるといいますので、どちらがなっても良いような気がします。見て聞いてなんだという具体的なものの方が子ども達は分かりやすい。全体のものがあってそのあと、その為にはこういう風な子ども達になってもらいたいという具体的な目標があるという、2段階であれば一番いいと思います。どっちも入れても良いと思うのですが。
<ul style="list-style-type: none"> ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは教育行政方針ですから、あまり具体化しすぎる必要もないので、直していただいたもので良いと思いますが、我々が子どもに対して郷土を良い意味で一生持ち続けるというイメージを与えるときには、3つのタイプを言葉に出して教えると、その内から自分で選択することになるということが分かっていいのです。 ・ 如何に多様化する世の中であろうとも自分の根っこまで多様化しすぎてはならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 ・仲川委員 ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これがあっての外に向けてのなんで、これがないと。 ・ わかります。 ・ 行政方針は、これで良いと思います。当然全体のまとめたものが出てきますが、それは今までもこの3つの柱というものは必ず出てきてますので、そこで十分に説明していただくということで、それがつながっているのであれば、それで進めていただければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この最初に示させていただいた3つの姿は佐渡のキャリア教育のグランドデザインの最初に書いている3つの姿で、これは引き続きやはり大事にしていきたいなと思っていますので、今回上げさせてもらったのは、結局キャリア教育とかも含めて教育大綱としての目指すトップのところかなと思っていますんで、キャリア教育の中での3つの姿というのは理解してもらえるように、先生方にも子ども達にも伝えていければなと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの姿を基本に大事にしながらも文書としてはこの大きなものをつかりと示していくということで宜しいでしょうか。 ・ 異議なし ・ その他、質疑等ございますか。 ・ 質疑なし ・ それでは、5ページの「基本目標3 安全・安心な学校づくり」について、説明をお願いします。

<p>・ 柳澤教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標3」の修正点について5ページ目の最初の朱書きのところで、「心の健康チェック」により」となっていたところを「心の健康チェック」を毎月実施することにより、」ということで文言を追加しました。 ・ 次5ページ目の最終行に委員さんからのご意見で「文化体育活動の面からは、」を「文化・体育活動においては、」と修正しました。 ・ 次6ページ最初の1行目「補助することにより教養及び体育の向上」となっていますが、「補助することにより児童・生徒の教養及び体育の向上」と「児童・生徒の」の文言を追加しました。 ・ 次2行目は委員さんからのご意見で「奨学金を適切に貸与することで、教育の機会均等などを図り、意欲ある青少年の自己実現を応援し、佐渡市の発展に資する」と修正しました。 ・ 次の学校給食のところで、当初より順番などを入れ替え少し分かりやすく修正しました。最初の学校給食では、最初は「安心・安全な食の提供を」となっていたが、「安全・安心な食の提供はもちろん、」に表現を変えました。 ・ 「佐渡産品積極的に」となっていたところを「佐渡産品を積極的に」と「を」を追加しました。 ・ 次の行は、「物価高騰分を市が補助」となっていたところを「補填」に修正したことにより「これまでどおり」の文言を追加したものです。 ・ 最終行の「バランスの取れた給食を提供します。」を「給食を実施します。」に修正しました。 ・ 「基本目標3」の最後2行目と3行目で「ジオパーク推進室と連携」となっていたところを「ジオパーク推進協議会」、最後の「深めてまいります。」を「深めていきます。」と修正しました。
<p>・ 新発田教育長 ・ 仲川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは「基本目標3」につきまして、ご質問ご意見ありましたらお願いいたします。 ・ 6ページの上から2行目の奨学金のことですが、皆さん是非忘れないでください。前回の改正により佐渡市奨学金は、大方の反対を押し切って実施した、とても無謀なことだと考えています。結局、教育基金が枯渇してしまった。先の見通しのないものをとにかく始めてしまった。あの8億というお金を他に使えば、もっと良いことができたかもしれない。奨学金は与えればいいのではない。ちゃんとどんな人にどういうことを願って奨学金を与えるのか考えながら適切に貸与しなければならない。「適切に」貸与するこの言葉を入れさせてください。ただ与えればいいということではない。大事なのは意欲ある青少年の自己実現を応援することです。佐渡市も応援しているから精一杯やってこいよという意味を込めて与えなければならないと思います。 ・ それから、細かいことですが元の文章に「市政の発展に資する」とありましたが、「市政」という言葉はここでは使えない。文字面で言えば市の政

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<p>治です。政治のために動いているわけではなく、子ども達それぞれの自己実現のため、ひいてはそれが佐渡市の発展に資すればいいという願いだと思います。ここでは「市政」という言葉は使わない方がいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他質疑等ございますか。 ・ 奨学金のことは大きく昨年でしょうかね、出だしを変えて今の形になってきているかと思いますが、それに関することも含めて宜しいでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、基本目標4 高等教育・研究機関等との連携の強化」につきまして説明をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳澤教育総 務課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標4」の7ページをご覧いただきたいと思います。先ほども申しましたとおり、「取組」は名詞的な表現については送り仮名を省略したと。 ・ 最後から2行目の当初「学校のブックリスト」となっていましたが、「学校へのブックリスト」と修正しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標4」について、質疑等ございますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、「基本目標5 一人一人が学び続ける学習環境づくり」について、説明をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳澤教育総 務課長 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標5」の修正箇所です。委員さんの方から「各世代への取り組みとして学童期は、～略～更には、学校部活動～略～学童期の活動を支援します。」とありますが、全国大会への激励金制度は高校生まで対象となるので、結びは「学童期の活動を支援します。」でよろしいか。とご意見がありましたので、「基本目標5」の最初の1行目の「各世代への取組として、学童期は、」となっていたところを「小・中学生については、」と修正させていただきました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8ページ上から3行目「強化することにより、学童期の活動を支援します。」を「その活動を支援します。」と修正させていただきました。 ・ 中程に「市民の学習機会の充実を図ることにより、豊かな生活」というところを「心豊かな」という表現に変えさせていただきました。 ・ 今回意見をまとめました3ページの方ですが委員さんからの意見で「学びの場の環境整備として、遠隔地では学習機会が」とありますが、「遠隔地」だけでは、佐渡全体が遠隔地であるので「佐渡市内の遠隔地」とした方が、事業内容を説明出来るのではないのでしょうか。というご意見がございました。後段の方に「学びの場の環境整備として、遠隔地では学習の機会が限られる傾向にあり、学校では、」という風な当初表記でしたが、「遠隔地では学習の機会が限られる傾向にあり」という表現を削除し、「学校では、遠隔授業や交流授業を」という形でつなげさせていただきました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、「各地区公民館においても、」という部分では、「講演会や学習会は国中エリアで開催されることが多いことから、」という表記を追加させてい

<p>・新発田教育 長</p> <p>・仲川委員</p>	<p>ただき、「遠隔地で行われる」を「遠隔地において」、「講演会や学習会を」を「講演会等」という形で修正させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8ページの最後から2行目からですが、「ライフステージにおいて学習できるよう、児童書、郷土資料などの充実に努めるとともに、」という表記でしたが、「図書の充実やレファレンスサービスの周知に努める」という風に変えさせていただきました。 ・ 「学校図書室」となっていたところ「学校図書館」に修正をさせていただきました。 ・ 9ページですが委員さんからの意見では、「プレクストーク」はブランド名なので、適切な表現に変更する必要あり。というご意見いただきました。2行目で「音声図書やプレクストークの活用を」という事でしたが、「プレクストーク」の文言は削除させていただきました。 ・ 続いて令和5年度中の博物館ビジョン策定を明示して、佐渡博物館を教育活動でも安全に有効活用できるような施策の一部を示してもらいたい。というご意見がございましたので、「博物館や資料館は、展示や調査研究等を実施するための資料の収集・保管を通じて、機能の維持と向上を図るとともに、世界文化遺産登録に向けた施設整備や資料の整理・体系化に基づくレファレンス機能等の強化に向けた博物館ビジョンの策定を引き続き進めます。」という表現に改めたものです。 ・ 「取組」は名詞的な表現のため送り仮名を省略したものでございます。 ・ 9ページの最後から4行目ですが、「市長部局と連携し、参加するとスタンプがもらえ、」というところを「ポイント」に直しました。 ・ 次の行でここも「健康スタンプ事業」を「ポイント事業」、当初は「を実施する中、」となっていたのですが、「実施します。また、」に修正させていただきました。 ・ 次も「スタンプ」となっていたところを「ポイント」に修正させていただきました。 ・ 次に「インセンティブを付加」というところを「付与」に修正をしました。 ・ 9ページ最後の行から10ページになりますが、「事業への積極的な参加を促します。更には、社会教育施設の利用料金及び受講料の無償化、ラジオ体操普及啓発事業などの取組により、高齢者の活動を多方面から支援していきます。」という表現を追記したものです。 ・ 「基本目標5」について、ご質問・ご意見いただければと思います。 ・ 意見を出させていただきました。博物館ビジョンについて一言も触れられてなかったものですから、是非この機会にビジョンについて明言していただきたいということでした。前回文化振興ビジョンの説明があったときに、博物館ビジョンは令和5年度中に策定するという話だったと思います。社会教育課、それで間違いないでしょうか。
----------------------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教育課長補佐 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の考え方としてはその通りです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大体間違いなくできるのですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教育課長補佐 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標にはしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつもこの話が出ると保留で、その前に文化振興ビジョンが必要とか、先送りするものが次々として出てきてしまった。もう数年この状態が続いています。どこかではっきり作ると言わなければいけない。 ・ それから、博物館を教育活動に使うということをもう少し具体的にイメージしてもらいたい。教育活動でも安全に有効活用するというのが私の要望です。博物館ビジョンという名前は出していただいたけれども、学校教育との連携については何一つ書いてない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教育課長補佐 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘いただいたように博物館ビジョンにつきましては、まあ記載がなかったということで、現場の方とも話をしまして、目標年次はあくまでも令和5年度末に完成というようなことで、今でも引き続き計画はしております。ただ、なかなか仰っていただいたようにいろいろな問題が途中出てくるようなことも今年度もありましたので、目標年次はありながら、難しいことがあれば、また改めてというようなことも可能性としてはゼロではないのかなと現場は心配しているというような状態です。言い訳がましくて申し訳ございませんが、現在目標年次は5年度末という風にさせていただいております。ということで、ここに明記をするべきであろうということで、ご指摘いただいたとおりに明記をしたところでございます。 ・ それから、具体性の部分につきましては、今ほどご指摘いただいたように、なかなか記載が進んでおりませんが、改めてもう一度考えさせていただきたいと、今しばらくお時間いただいて必要なものを追記していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追加で良いのですか。博物館ビジョンはしっかり作り込んでください。それがないと今度は予算ができません。ビジョンがないと特に大きな予算は付かないと思います。是非次の予算を取るために、これは令和5年度中にやるべき事だということを皆さん周知しながら進めてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の方で質問をしたいのですが、9ページの真ん中より下ですが、「特に高齢者の生きがい対策に取り組めます。一般的に、年齢が高くなるにつれ、自宅から遠方に～」から「講演会や学習会のライブ配信システムの整備により、高齢者の学習機会の充実を図ります。」という文脈から、私の方で読み取れなかった、これは個々自宅において、ネット環境とか整っている方がオンラインを受けるシステムをとということですか。それとも、例えば各地域の公民館とか図書館とかそういった施設で近くの方が集まってライブ配信を見ることが可能システムを整えていくのか、その辺がこの文章から読み取れなかったので教えていただくと助かります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今仰っていただいた後者の部分を社会教育課として今考えているところ

<p>育課長補佐</p> <p>・ 瀧川委員</p> <p>・ 新発田教育 長</p> <p>・ 委員全員</p> <p>・ 新発田教育 長</p> <p>・ 柳澤教育総 務課長</p>	<p>です。講演会ですとか学習会は住宅密集地、国中エリアで開催されることがやはり多いものですから、国中エリアから見た遠隔地、私ども市民大学講座というのを年回10回位行っているんですが、その登録状況見ますと、南部では今年度全体の156人の登録のうち、南部では5%程度、相川では6%程度ということで、距離が離れば離れるほど参加登録の人数が少なくなるのかなという考え方がありまして、遠隔地例えば羽茂ですとか相川にサテライト会場を設けて、そこへお集まりいただいて視聴いただいて学習の機会としていただければなと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅でもというのは将来的にもそういう方向になっていくのかとは思いますが、私どもやはり高齢者を如何にご自宅から外に出ていただくかとか、生きがい対策というような観点からやはりどこかへ集まって近所の方と顔を合わせていろいろな話もしながらというようなことも考えたところ、サテライト会場というのがより効果があるのではないかとということで次年度は2か所ほどどこかライブ配信が受けられるような場所を設定したいと考えているところです。 ・ ありがとうございます。とても希望に添った動きに発展していくと思います。2か所であっても、特に冬場とかに軽トラで出向くとかバイクで出向くというので心配事がある、時間帯を早くしてほしいという希望を家族から聞いたこともあって、前も一度意見をしたことがあります。やはり南部地区や相川地区や、そういう方々の学習の機会、集まれる機会が増えるということはとても良いことだと思いますので、聞いて安心しました。 ・ その他質疑等ございますか。 ・ 質疑なし ・ 次に、「基本目標6 家庭・地域の教育力の充実」に関して、説明をお願いします。 ・ 「基本目標6」の修正箇所です。中程に「少子化が進む中」「中」は平仮名を漢字に改めたものです。 ・ 委員さんのご意見として3点ほどいただいております。「土曜学習」の質問にはあとで担当の方からご説明させていただきます。 ・ 「地域の方や～」「地域の皆様の～」「また地域の方々～」という表記があるので統一した方が良いのではないかとということで「地域の方」に統一の方させていただきます。 ・ 他の基本目標と比べると、全体として具体的なことが明確に書かれてなくて、少しぼやけた印象に感じます。例えば、コミュニティスクール、部活動の地域移行などのキーワードを入れるなどは、というご意見がございましたので、「スポーツ・文化活動の環境整備が求められており、今進めている休日の中学校の部活動実施には」と今なっていますが修正の方お願いしたいと思います。「部活動の地域移行には」に直させていただきますと思います。
---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「体制づくりを行います。更に」最初は「また」になっていましたが、「更に」という風に変更の方させていただきました。 ・ 「基本目標6」に佐渡市小中学校の重要課題である家庭学習習慣について一言も触れていないのは何故か。家庭における学習時間の確保・学習習慣の確立に係る文言を入れてもらいたい。ということで、10 ページ最後の3行に加えさせていただきましたが、最初皆様にメールをした際には、「なお、学校と家庭が連携し」とあり、次も「学校と家庭が連携し」でだぶるものですから、今回お配りした紙ベースでは「学校と家庭が連携し」を削除してございます。「なお、子どもの家庭における学習時間の確保、学習習慣の確立を図るために、学校と家庭が連携し、特にタブレット端末を使用したデジタルドリル教材の有効活用を進めていきます。」という3行を追加したものです。 ・ それでは、土曜学習の質問の件を回答してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教育課長補佐 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜学習について、前回の質問の趣旨として学校で希望があれば、ハードルはありますが可能です。先生や支援員のスタイルというのがちょっと質問の趣旨と答えがあっているかわかりませんが、私どもとしては子ども達の学習という考え方から、一番良いのは教員のOBの方にお問い合わせ出来るが一番良いのかなと思っています。その先生の中でも教え方がいろいろあるのかもしれませんが、まずは先生にお願いをしてみて、子どもの反応を見ながら他の方がいっしょに違う方にもお願いするようなタイミングもあるのかもしれませんが、その辺はやりながら試行錯誤しながらということで考えているところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど質問したこととダブりますが、教員だけではなくて大勢いるから見るボランティアとか支援員とかを保護者に募集するため声がかかるのかなと思って、それでよくわからなかったので学習スタイルということで聞いてみたのですが、今の説明でよくわかりました。あと、地域委嘱が出て良いですね今2か所でしか行われていないのですが、今後統合があったりして、地域委嘱になっていくのではと思って説明を聞いていました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほどキャンペーンをやってというのがあって、これは小・中学、校長会の方には声を掛けてやってもらえませんかというのが、退職校長会の方ですかね。退職公務員会の方に声を掛けさせてもらったのかな。今お話あったように地域の方にそういう方にもということですよ。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な質問になりま、例えばこの土曜学習を始めた場合ですが、今実際にされているところもあるということですが、土曜日なので鍵の管理というのはどういう風にされているのかと思ひまして。学校の先生というのはこちらにはもう関係ないですよ。その時に学校って鍵の管理ってどういう風になっていますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本間社会教育課長補佐 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今具体的に金井と新穂でやっていると申しましたが、実際にやっている会場が金井ですと中央図書館でございます。それから新穂だと新穂地区の

<p>・池委員</p> <p>・本間社会教育課長補佐</p> <p>・池委員</p> <p>・仲川委員</p> <p>・新発田教育</p>	<p>公民館でやっていますので学校を直接使っている状態ではないです。このあとまた学校の協力とかいろいろなところで、学校を使わせていただくのがいいのか、その辺もちょっといろいろ考えていきたいと思うんですが、現在はそこに職員がいたりですとか、鍵の開け閉めが容易なところを活用しているという状態でございます。そこへ、学校を通じて子どもさんにも声掛けしていただいている土曜学習っていうのがあるから行って見たらというようなことで声掛けいただいているものですから、校長先生も気にして見に来てくれたりとかということはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携して一番良い方法を考えていきたいと思っています。 ・ ちょっと外れるかもしれないですが、興味があるので教えていただきたい。このあとのこともあるので。その土曜学習2か所でやっている参加者は何人位いるのですか。 ・ ちょっと申し上げにくいんですが、今現在まだ始めたばかりということでまだ浸透していないところもありまして、金井では回によってですが最大で4人、ある回は2人というような状態です。新穂の方も毎回2、3人というようなことで、このあたりももうちょっと来ていただけると良いのかなと課題にしていきたいと考えております。 ・ せっかくですし、もう少し来ていただきたいですね。 ・ 家庭における学習時間の確保、学習習慣の確立について質問させていただきました。教育大綱の元にこの基本目標を6つ立てるとき是非家庭にもお子様の教育に係る一定の役割を果たしてもらいたいという意図がありました。これができないと学校で豊富な知識を身につけてそれを活用していくという能力になかなかつなげてこない。 ・ 家庭の役割として家庭学習の習慣化をやってもらいたいというのがこの「基本目標6」を作った原点だと思います。そこから数年経って学校運営協議会とか放課後子ども教室とか土曜学習とか地域の支援については書き込んであるのですが、大事な家庭が全部抜けてしまっていました。去年まではあったのです。これではいけないと思ってこのように書かせていただきました。 ・ もう数年来続けている全国学力学習時間調査、一向に上昇の傾向がみえません。学校では指導方法の改善その他やってくださっていると思いますが、ベースにある学習時間の向上がみられないのです。とても大きな問題です。何で改善できないか。皆さんにはいろいろなところで是非これを言ってもらいたい。今度卒業式入学式のお祝いの言葉等もあるかと思いますが、その中でも家庭は家庭として役割を果たしながら一緒に支えていきましょう、子ども達の成長に向けて協力していきましょう、という姿勢を教育委員会で言い続けたいといけないだろうと思います。 ・ 今回こうやって、私の要望通りに入れていただいて有難いと思っております。今後ともよろしく願いいたします。 ・ 「基本目標6」で、その他質疑等ございますか。
---	---

長	
・委員全員	・ 質疑なし
・新発田教育	・ それでは「おわりに」について説明をお願いします。
長	
・柳澤教育総務課長	・ 「おわりに」につきまして、委員さんから「佐渡市小学校・中学校再編統合」「教員の働き方改革」「部活動の地域移行」この3点の推進は令和5年度の最重要課題。「おわりに」に明記し、教育委員会としての姿勢を示してもらいたい。というご意見がございました。先程の冒頭にもございましたとおり、基本目標1から6までの間にこの3つの部分は盛り込まれたということで今回「おわりに」のところで明記は今回控えようということではありましたが、先ほど、「佐渡市小学校・中学校再編統合計画」につきましては、「はじめに」か「おわりに」のどちらかに追記というご意見がございましたので、その辺はまたどちらかに入れるかは教育委員会が終わりましたら、検討の方させていただいて、追記の方させていただきたいと思っております。
・新発田教育	・ 先程最初のところでですね、再編統合計画につきましては「はじめに」か「おわりに」にもう一度述べた方が良いというお話しはいただいておりますが、働き方改革については、校務支援システムという点で載せていたり、部活動の地域移行については、2か所3か所という形で述べているということなんです、このあたりご意見あれば今のうちに出していただければと思います。
長	
・仲川委員	・ 3つ上げさせていただいたのは私ですが、大きな課題から目をそらさないように、聞いている人がよくわかるように、課題を明らかにする文章を作ってもらいたいと思います。
・新発田教育	・ その他質疑等ございますか。
長	
・委員全員	・ 質疑なし
・新発田教育	・ では、全体バランスを見て検討させていただくと言う事で、事務局預かりとさせていただきます。
長	・ 全体を通しまして、いかがでしょうか。今年の施策については掲げずに、目標の中で3課の取り組んだことをしっかりと連携した形で述べたいということもあってこういう形に変えたんですが宜しかったでしょうか。
・委員全員	・ 質疑なし
・新発田教育	・ 質問、ご意見等はなしと認めます。
長	・ 教育行政方針は2月28日招集予定の市議会本会議で朗読することとさせていただきます。
・事務局	・ 続きまして、日程第3「報告事項 その他」について事務局の説明を求めます。何かございますでしょうか。
・新発田教育	・ 発言なし
	・ 委員の皆様から何かございますか。

<p>長</p> <p>・池委員</p> <p>・森学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の地域移行というのはこれから重要だと思います。それで聞かせていただきますが、令和7年までの3年間である程度目途を付けて土日の地域移行が完成に近い状況までいくように、随時進めていくというような事になっているかと思います。そうなってくると3年しかないのでスケジュール等、今いろいろなところで検討を始めていると思います。スケジュールがわかりましたら教育委員会の中で教えていただけると、想像できる部分が出てくるのかなと思います。3年は、非常に短いし佐渡のスポーツ協会とかそれぞれの競技団体との打合せ等で、あっという間に時間が経ってしまうような気がするのでよろしくをお願いします。 ・ 先に開催されたバスケットの新人大会では、もう合同チーム・地域スポーツクラブが出ている地域がかなりあります。来年度、佐渡はそうはいかないで今までと同じように大会等に出ることになると思うのですが、そうなってくると3年というのはあっという間なので是非スケジュールがわかれば教えていただければと思っています。
<p>・池委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見ありがとうございます。先日保護者向けの文書を配付させていただいたところを書いてあったように、とりあえずは今の子ども達が中学校の部活で頑張っている体制を崩さないというか、そういう方向で今の子ども達の競技大会につながる中体連関係また文化活動もそうですが、教育委員会が新たな組織を立ち上げてということはやらないでいこうと、それが終わった段階で段階的に進めていこうと考えているところです。 ・ 3年間でということで話はなっているんですが、実は12月27日に国のガイドラインが改めて出されました。その前に全国にパブリックコメントしていた案があったんですが、その3年間の改革集中期間ということで、この3年間進めて下さいというくらいだったんですが、かなり国の方へも全国の自治体や関係者からいろいろな意見があって、この3年間で進めるのを目安にはしますけれど、地域の実情に応じてという文言に変わり、そして集中期間という言葉ではなくて推進期間という言葉に弱まり、残念ながらというか予算も4分の1か5分の1くらい国の方が地域移行に係る予算をぐっと落としてきたという状況です。 ・ 佐渡市も佐渡市の実情に応じて3年という目安は1つ頭に入れながら進めていきたいなと思っています。また、どの段階でどういうスケジュールが示されるのか、それがもしかしたら途中で佐渡市の状況によって変更する場合もあるかもしれませんが、目安になる今現在のスケジュールをできるだけ早くお示しできればなと思っています。 ・ 見ていると凄く良いこと、普通の競技種目としてのクラブとそうではない楽しみたいクラブとそこに入らないで文化的なことをやっていきたい者等、様々な希望が混在しており、それを組織立てるといのは、大変なことだと感じます。3年間でというと、それは難しいと思いました。陸上と他のスポーツ種目を佐渡の子って一緒にやっています。両方に出たりして

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<p>いると選手の取り合いみたいなことも出てきたり、その辺の調整もかなり厳しいものが出てくるような感じがして非常に大変だと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうですね。進めれば進めるほど様々なまた問題も出てきて、指導者の問題ですとか考え方とか。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やらないと進みませんね。どうするのか、ちょっと一歩とか二歩とかの具体的な動きというのが、早めに出てこないといけないかなと思いました。 ・ 教えていただきたいのですが、年度末でコミュニティ・スクールの学校運営協議会のメンバーを選出する時期なのですが、学校運営協議会というのも段々多様化してきて、もうこの人この人とかいろいろな人を入れたいという流れになっています。やっていく中で例えば学校区というのも先ほどの部活動の地域移行の流れもあると、この人をお願いしたいと思っても、その学校区の委員さんだったりして、委員の重複というのは基本的にできないでしょうか。こちらの地区とこちらの地区と重複して委員になるというのは実際には可能でしょうか。多分できないとは伺いたいと思ひまして。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育 課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すみません。確認しないと今即答ができなくて申し訳ないんですが。ただ学区外ということで今話があったんですが、ある条件に合えばそれを認める事になるんですが、部活動を理由にした学区外通学は条件に入っていないはずですので、そういう保護者からの要望があった場合改めてどういう理由なのか審査させてもらう形になると思います。 ・ そのコミュニティ・スクールが両方いろいろなところにいけるのかどうかというのは、ちょっと確認させていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活に関係ないですが、簡単に言えば、こちらの学校区の方のコミュニティ・スクールの学校運営協議会の委員さんで元々入っている方がいて、こちらの学校区の学校運営協議会の委員さんを新たに同じ方をお願いしたいという話が出てきてしまっていて。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育 課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認させていただきたいと思うのですが、例えばですが中学校の校長先生がAという学校のコミュニティ・スクール、同じ中学校区に2つ小学校があってそのコミュニティ・スクールに所属するという例もあったかもしれないので、確認して返事させていただいて。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も明日自分が出張に行く内容の1つとして、いじめ問題と不登校のことになるのですが、やはり普段保護者でいるとベールに包まれすぎていて、佐渡市はどのような動きをしているのか、ここで教えていただきたいです。不登校になってしまった子どもが学校に復帰する前提で支援をするとなったときに、あすなる教室や保健室に行けてるという話は聞くのですが、佐渡の場合大体どういった形での支援があり、不登校に小学校の子どもがなった、中学校の子どもがなったときのその辺の流れがありましたら教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・森学校教育 課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さんの状況で例えば教室にはなかなか行けないけど、別室登校ならできる場合には学校にそういう場所を確保してもらって、職員が対応でき

<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 ・ 仲川委員 	<p>ればそうですけれど、なかなか職員だけではできないというときには、教育委員会の方のあすなるの職員が助っ人にいけるかどうかとか、そういうところはまた検討したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の指導員さんが学校の方へ、自宅ではなくて学校に行って対応というのは例がありますので、またそういうところでも別室登校を支援しますし、なかなか学校へ行けなくなったという状況になりますとあすなる教室で慣れてから登校につなげるという方向、あとは自宅からなかなか出られないとなれば訪問指導という形になります。 ・ これも教育委員会でやったことですが、子ども若者課なども進学家庭支援という形で進めていますし、あと各課連携したり、また他の関係機関が集まってケース会議開きましてどのような対策ができるのか、というのは常に相談し合いながら対応していくという形です。 ・ ありがとうございました。 ・ 不登校の問題は群馬での関東甲信越静教育委員大会でも重要な課題として大きく取り上げられました。そこで不登校は問題行動ではないという認識をすべきだという意見がありました。皆さんどう考えますか。我々が意識を変えなければ次に進めないということです。私はそこまで意識はまだ変わりません。問題行動だとは思いますが、社会で解決すべき大きな問題だと思っている人間なので、問題行動ではないと言い切ることが自分はまだできないのです。 ・ それについて、さいたま市教育委員会が教育長の至上命令で大至急、不登校児対応の教育センターを作りました。適応教室にも行けない子どもが家にいるわけですので、オンラインでつなげて朝のショートホームから午後の終了の学活まで時間割を作ってそこで絶えず連絡を取れるように、担任の先生を付けて、対応するシステムを作れと言って1年で作ったそうです。もう始まっています。 ・ 我々とは次元の違う認識と次元の違う動きがもう先進県で始まっているということを考えてもらいたい。これが佐渡でできるかどうか。そして本当にそれでいいのかどうか。私はそれからずっと考えているのですが、是非中央に行ってそういう情報を集めてきて皆さんの前で教えていただけると有難いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も、その不登校児認定のための7つの条件というのを2019年に文部科学省の方で出しているのを読みました。あと新たに仮想空間だったりアバターでつながるような環境があるのも読みました。どうして不登校とかいじめとかが起こってしまうかという、環境の変化だったり自分を他者に見せたりする事が苦手だったり、変化に凄くなじめない子がになってしまう場合がある。本当に今度学校統合が始まってくると、今よりもつまずきをおこす小学生とか中学生が出てきやすい状況になってくるのかなと思います。その時に今の教員の数とあすなる教室のシステムだけで本当にフォローできるのかとなったときに、アバターとか仮想空間でもつながりを絶や

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 ・瀧川委員 ・新発田教育 長 ・委員全員 ・新発田教育 長 ・新発田教育 長 	<p>さないような取り組みで成功しているところがあったら、将来的に佐渡で遠隔操作とかになっても、全く心を閉ざしてしまうよりもつながりが必要なのか、その辺は聞ける機会があったら聞きたいと思っています。それで今の佐渡の状態を聞きたいと思って、今回質問させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に学級担任がずっとフォローしてそこへ相談員も入るんですが、学級担任が自分の授業をでてきてみないかということで、つなげている事例もいくつか挙がっています。もちろんコロナ対応でそういうことをやることもあるんですが、不登校の子どもに対してZ o o m配信でつながって1学期不登校だった子どもが2学期登校できたという事例も実はあります。そんないろいろな策は取り組んでいますが、全部についてそれをしなさいということは、さいたまのような形ではやっていない。各担任がそれぞれ工夫しながら今動いているのはあります。 ・ ありがとうございます。 ・ その他質疑等ございますか。 ・ 質疑なし ・ 日程第3「報告事項 その他」はこれで終了いたします。 ・ 日程第4「次回会議の開催日」について、事務局の説明を求めます。 <p>【次回の会議は、2月21日（火）に定例会を開催したい旨を説明した。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以上で令和5年第3回佐渡市教育委員会臨時会を閉会いたします。 <p style="text-align: right;">午前11時35分終了</p>
--	--